

みずほCustomer Desk Report 2020/04/23号 (As of 2020/04/22)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.86
TKY 9:00AM	107.73	1.0856	116.99	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	107.94	1.0885	117.20	1.2304	0.6294
SYD-NY Low	107.52	1.0804	116.46	1.2386	0.6354
NY 5:00 PM	107.75	1.0822	116.57	1.2278	0.6277
NY DOW	23,475.82	456.94	日本2年債	-0.150	▲1.00bp
NASDAQ	8,495.38	232.15	日本10年債	-0.010	▲2.00bp
S&P	2,799.31	62.75	米国2年債	0.2143	1.39bp
日経平均	19,137.95	▲142.83	米国5年債	0.3634	3.33bp
TOPIX	1,406.90	▲8.99	米国10年債	0.6167	5.24bp
シカゴ日経先物	19,345.00	235.00	独10年債	-0.4110	6.85bp
ロンドンFT	5,770.63	129.60	英10年債	0.3240	2.80bp
DAX	10,415.03	165.18	豪10年債	0.8490	▲1.00bp
ハンセン指数	23,893.36	99.81	USDJPY 1M Vol	8.58	▲0.10%
上海総合	2,843.98	16.97	USDJPY 3M Vol	8.43	▲0.15%
NY金	1,738.30	50.50	USDJPY 6M Vol	8.45	▲0.23%
WTI	13.78	2.21	USDJPY 1M 25RR	-2.25	Yen Call Over
CRB指数	111.11	4.82	EURJPY 3M Vol	9.85	▲0.02%
ドルインデックス	100.39	0.13	EURJPY 6M Vol	10.08	▲0.02%

東京	ドル円は107.73レベルでオープン。仲値公示にかけて107.87まで上昇するも、原油安と株安を背景にリスク回避の動きが強まり、ドル円はじりじりと下落する展開が続いた。結局107.55レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.55レベルでオープン。NY原油先物(WTI)が低水準ながら安定に推移するなか、リスク回避の円買いも一段和らぎ、ドル円は堅調推移。107.63レベルでNYに渡った。ロンドンドルは、1.2317レベルでオープン。今日までロンドンに動いていた原油価格下落が一巡したことを受け、上昇。1.2386まで買われる局面もあったが、1.2372レベルでNYに渡った。(ロンドンドルプライム00531 444 179 マクルヒル)
ニューヨーク	ドル円は107.63レベルでNYオープン。朝方は特段のヘッドラインが見当たらないものの、原油価格の反発と米株の上げ幅拡大を受けて、買いが先行し前日高値(107.89)を上抜け、一時107.94をつける。午後は株高債券安の展開が続くも、ドル円は追従せず、107.70近辺まで反落する。終盤は方向感の無い推移が続き、結局、107.75レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、1.0850近辺での小動きでスタートし、欧州時間にかけてリスクオフのドル買いが一服すると1.0885まで上昇するも、1.0900手前では上値が重く、小幅値を戻し、1.0877レベルでNYオープン。朝方はドル買い優勢の展開にじりじりと下落するが、NY10時に発表されたユーロ圏4月消費者信頼感指数が予想を下回ったことからユーロ売りも強まり、1.0821まで下落。午後の上値の重い展開が続き、1.0804まで安値を更新。その後、「ECBが銀行への貸付プログラムで一部ジャンク債を担保として受け入れる」とのヘッドラインが伝わるも、ユーロドルの反応は限定的だった。終盤は1.08台前半の狭いレンジで小動きとなり、結局、1.0822レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 谷舗・大庭 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

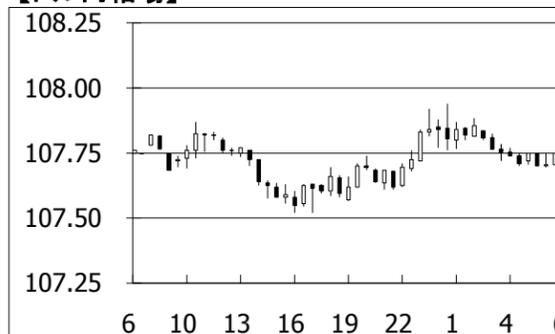
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月22日	15:00	英 CPI(前月比/前年比)	3月 0.0%/1.5%	0.0%/1.5%
	23:00	欧 消費者信頼感	4月 -22.7	-20.0

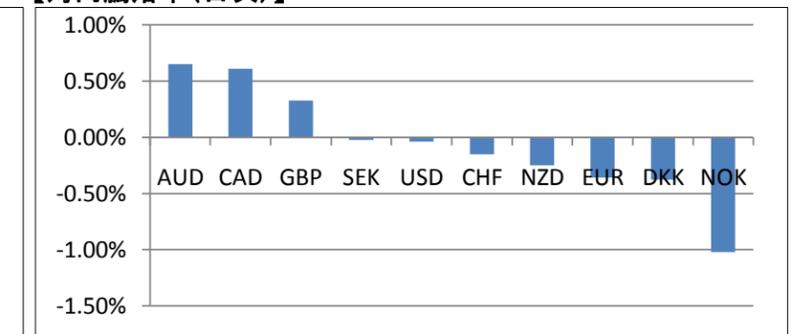
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月23日	16:30	独 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	4月 39.0/28.0/28.5	45.4/31.7/35.0
	17:00	欧 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	4月 38.0/22.8/25.0	44.5/26.4/29.7
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 4500k	5245k
	22:45	米 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	4月 35.0/30.0/-	48.5/39.8/40.9
	23:00	米 新築住宅販売件数	3月 644k	765k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 原油の上値は重い

21日の取引でNY原油先物が史上初のマイナス圏に突入していたが、昨日は限月が変更となったこともあってかプラス圏に回帰し、底堅い動き。原油価格の異常事態に米国株式も下落していたものの、原油の持ち直しとともに反発している。ただし、昨日の原油価格回復は限月交代による売り圧力が緩んだことが背景と思われる、新型コロナウイルスによる需要減や供給過多といった根本的な原因は解消されていない。現在でもWTIの原油受渡し拠点であるオクラホマ州クッシングの原油貯蔵施設では、約5,970万バレルの原油在庫が滞留している。これはクッシングにある原油貯蔵施設の容量が7,600万バレル程度であることを鑑みれば非常に高い水準で、残っている貯蔵容量も既にリースされているという。現物の受渡しを回避するために期近の売り圧力は今後も続くだろう。サウジアラビア等の産油国は減産開始のタイミングを早めるなどの措置を検討しているが、未だ具体策は打ち出されていない。産油国による減産が思うように進まず、需要の回復もまだ見込めない状況下、WTIが再びマイナス圏に突入する展開は想定しておくべきだろう。6月限の最終取引日は5/19となる。

原油・株式がボラタイルな動きを続けるなか、ドル円相場は不思議なほど静かである。3月末にかけて高まったドル需要が緩んでいく中で円高が進行していくと考えていたが、未だドル買い・円買いの相場地合いが継続している。金利差の縮小や原油の低迷が長期化した際に懸念される米シェール企業の連鎖破綻の懸念など鑑みれば、ドル円は下値を警戒すべきと考える。(谷舗)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
6	14